

にしじ

高知医療センター

ドクターヘリに密着!!

.... P2~P3

被災地へ。高知医療センターDMAT

.... P4~P5

4

APRIL 2011 Vol.66

- 退任のご挨拶 地域医療連携室 室長 大西信子..... P6
- 初期臨床研修修了医師からのお便り No. 4
(九州大学病院 麻酔科蘇生科 木村 めぐみ 医師)..... P7
- 高知医療センターイベント情報 P8



被災地から帰還したDMATとドクターヘリ。放射線濃度の検査を受けています。

- 高知医療センターの基本理念
医療の主人公は患者さん
高知医療センターの基本目標
1. 医療の質の向上
 2. 患者さんサービスの向上
 3. 病院経営の効率化

高知医療センター・ドクターヘリに密着!!



高知県ドクターヘリの運航が始まりました。当初、3月12日に就航式を行う予定でしたが、3月11日に発生した東日本大震災のDMAT出動のため、実際はDMAT部隊の帰還後、3月16日から正式運航を開始しています。

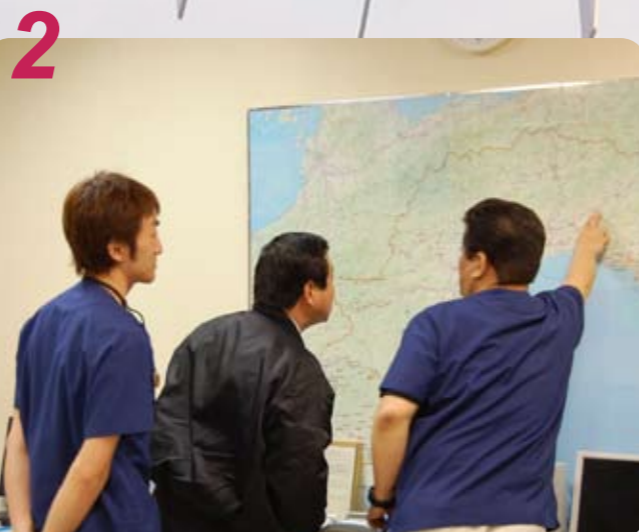
ドクヘリと救命救急センター長 村田厚夫先生

1F 救急外来にCSルームがあります。

CS Room
103
救急管理司令室



1 毎朝、CS室でフライトドクター、フライトナース、パイロット、整備士、CS、防災職員と打ち合わせをします。夕方はその日の「まとめ」を行います。ちょうど、夕方、打ち合わせが行われている最中にドクターヘリの出動要請が来ました！直ちに出勤します！



出動要請は119番を受けた消防機関からCS室にかかり、5分以内にドクターヘリは飛び立ちます。その間に着陸地や患者さんの状況を連絡し合います。



フライトドクターとフライトナースが現場に向かいます！ドクターヘリは、医療センターの屋上ヘリポートに待機しています。



今回は香美市への出動でした。約15分後にヘリポートで患者さんの受け入れ準備をします。



5 患者さん受入れの待機中。



現場へと飛び立ちました。

7 ドクターヘリが到着するとすぐに、患者さんを救急外来へ搬送します。

被災地へ。高知医療センター DMAT

3月11日(金)、14時46分頃、東北地方から関東地方にかけての太平洋側でマグニチュード9.0の巨大地震が発生しました。高知医療センターでは、3月12日にドクターヘリの就航式を控えていましたが、直ちに、高知医療センター DMAT 隊員のリーダー齋坂雄一医師、田中公章医師、遠山泰子看護師、山中健徳(事務)を乗せ、被災地、岩手県の花巻空港へと向かいました。今回、被災地に行かれた隊員の活動について掲載いたします。(写真提供：高知医療センター DMAT)



荷物と不安でいっぱいの機内で移動中の様子です。齋坂医師と田中医師。



ヘリからの被災地の様子。まだ水がひいていません。



患者さんが搬入された直後の SCU です。たくさんの DMAT が交代で治療に励みます。



幕営セットを持参していきました。テント内で夕食をいただきます。この日は氷点下6℃まで冷え込みました。



花巻空港にはたくさんのヘリが到着していました。



朝の作戦会議です。ヘリ部隊が集合です。



患者さんを連れて帰ってきました。



出動がかりました！簡単に打ち合わせして、エンジンスタート！



患者さんを簡易ストレッチャーに移します。



待機している診療チームの DMAT に申し送りをします。津波の襲った地域からの搬送です。



ヘリが飛び交い、被災地から搬送してきます(「域内搬送」といいます)。自衛隊ヘリも独自の活動でどんどん搬送してきます。ここ花巻空港からは自衛隊の固定翼 C-1 でも被災していない地域の病院に運ばれていきました(「広域搬送」といいます)。

退任のご挨拶

地域医療連携室 室長 大西 信子



地域医療機関の皆様へ感謝。

桜咲くこの季節、たくさんの人たちとの別れがあり、またいろいろな人たちとの出会いがあり、新しい年度を迎えるこの“春”が一番大好きな季節でもあります。私も別れと出会いのこの時期を幾度となく体験し、たくさん人たちから数多くの事を教えていただき学び支えられ、今の自分があることに心から感謝しています。そして、この3月末をもって、高知医療センターを退職することになりました。

平成20年4月に地域医療連携室に配属となり、院内外のたくさんの人たちに支えられ、地域医療連携業務の充実に向けて取り組むことができました。高知医療センターは、地域医療機関との連携や協力の中で成り立っている事をひしひしと感じながら、この3年間、連携業務に携わってきました。また、微力ではありましたが、地域医療連携室の業務内容も少しずつ改善し、地域医療連携を充実させていくために何が必要か検討しながら、西岡豊地域医療センター長を始め、地域医療連携室スタッフ全員が質向上を目指して前向きに取り組んでまいりました。私たちがいろいろ取り組んできたことの評価は、地域の医療機関の皆様方がしてくださるものと思っておりますので、これからも闊達なご意見・ご指導・ご鞭撻をいただければ幸甚と思っております。

地域医療機関の皆様との関りの中で、たくさんの思い出が脳裏を駆け巡ります。その中でも、地域の医療機関を訪問させていただき、貴重な時間の中で、院長先生を始め、看護師長・部長さん、

事務長さん、ソーシャルワーカーさんなどたくさんの方々との会い、いろいろお話する機会をいただき、地域に根ざした医療活動を実践されている様子が十二分に伝わってきました。また、お互い顔を合わせ意見交換の場として、率直なお話がありましたこと、ありがたく思っております。この医療機関の訪問をきっかけに、いろいろと業務を見直すことができ、医療連携の充実にも繋がりました。一方的なお願いでの訪問でしたが、“顔の見える医療連携”に結びついたと思いながら、より一層身近に感じ、親しみやすい高知医療センターの地域医療連携室になることを願っているところです。また、奇数月に行っている地域医療連携研修会には、たくさんの方々のご参加のもと、開催できました事も合わせてお礼申し上げます。これからも地域医療機関の皆様のご希望に沿いながら研修内容も計画しておりますので、ご参加の程よろしく願いいたします。そして、今まで以上に地域医療センター、地域医療連携室をご利用いただければ幸いと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

3年という短い期間でしたが、地域の医療機関を始め、医療機関の皆様にはご支援、ご協力いただき心から感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。



大西室長（前列左端）と堀見病院長、西岡地域連携センター長
そして地域医療連携室スタッフ

初期臨床研修医修了医師からのお便り No.4

高知医療センターの初期臨床研修を修了した医師からのその後の近況報告のお便りです。

木村 めぐみ 医師

平成20年4月～平成22年3月 高知医療センターにて初期臨床研修。
現在は、九州大学病院麻酔科蘇生科に勤務。

お久しぶりです。

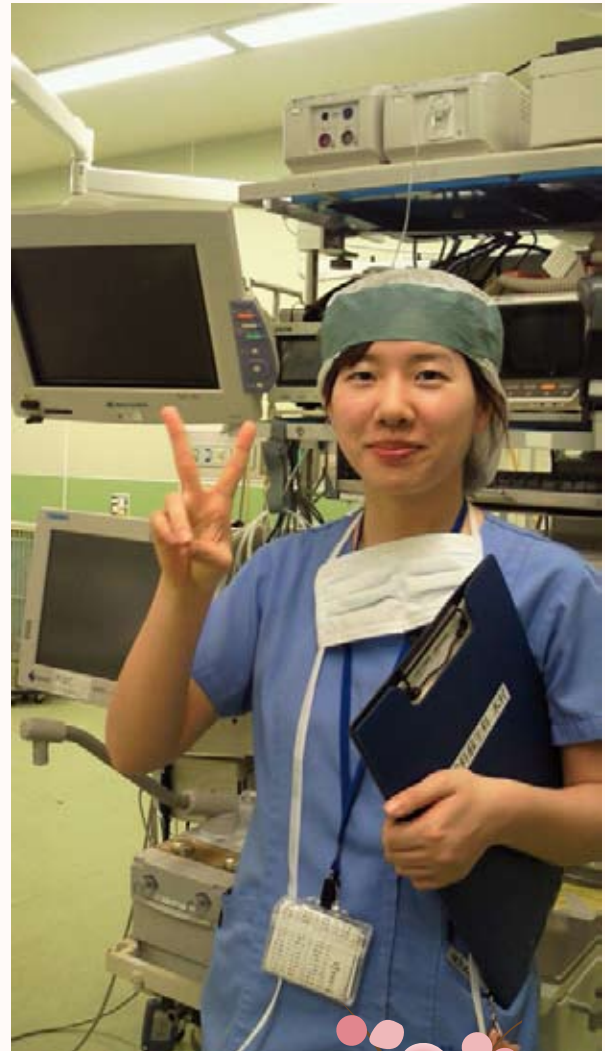
私は高知医療センターでの2年間の研修生活を終了し、昨年4月に地元・九州の九州大学病院麻酔科蘇生科に入局しました。入局してからおよそ1年が経ち、入局時の頃と比べればですが、自分としてはかなり進歩したと思います。

大学病院での麻酔は医療センターと医局が異なるということもあり、術前診察から麻酔計画、麻酔方法などの違いに初めは戸惑いました。4月の終わりにやっと病院や医局のシステムに慣れ、5月になって麻酔の流れに慣れ、6月からは難しい症例（私にとってはですが）に挑戦させていただき、日々経験と勉強です。毎日麻酔をかけていますが、九州大学病院は手術の種類だけでなく症例の多様性にも富んでおり、毎日が新しい発見の連続です。また、症例だけでなく個人の多様性もちろろんあり、術中は各患者さんにあった最適な麻酔をつかむのに苦労します。最後まで想像通りに麻酔が進行する症例もあれば、最後までつかめずに振り回される症例もあり、疲労感と挫折感と達成感と・・・さまざまな感情を日々感じています。けれど、この患者さんの手術を必ずうまく成功へ導きたいと強い気持ちをもって麻酔に臨むときは、麻酔終了後は何よりも充実感を最も感じています。術後の状態を病棟や外来で診続けるのは外科の先生方で、後々まで麻酔をかけた患者さんに自分に関わることは少ないですが、術後早く回復していく患者さんを見ると非常に嬉しく思います。

そもそも、私は高知医療センターの麻酔科で研修して麻酔というものが非常に興味深く、やりがいのあるものと感じたため、麻酔科医になることを決めました。現在の私があるのは、高知医療センターでの麻酔科以外にも外科や内科、小児科、産婦人科などの研修もあってこそだと思っています。科によって得手不得手はかなりありましたが、どの科でも先生方の熱心な指導のもと、私なりに一生懸命研修

し、経験したことは今に少なからず役立っています。2年間の研修はあっという間に過ぎましたが、医師としての自分をつくったのはその充実した楽しい2年間でした。高知医療センターを思うとなつかしく、たまに帰りたい気持ちになりますが、麻酔科医としてこれからも九州で頑張っていこうと思います。

ピースサインの木村めぐみ先生



高知医療センター イベント情報

日	曜	4月～					
11	月	高知医療センター新人看護研修 地域施設公開研修		※参加費無料、事前申込要			
		内容	高齢者のケア	講師	高知医療センター 老人看護専門看護師		
		場所	高知医療センター1F 研修室2・3	時間	8:30～10:30	対象	看護職員(20名)
		お問い合わせ：高知医療センター 看護局 教育担当 FAX：088(837)6766 お申込方法：開講の1週間前までに「研修名、時間帯、申込者名、申込み施設名、連絡先」を明記の上、上記までFAXにて。定員になり次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。					
11	月	高知医療センター新人看護研修 地域施設公開研修		※参加費無料、事前申込要			
		内容	看護における医療安全対策	講師	高知医療センター 医療安全管理者		
		場所	高知医療センター1F 研修室2・3	時間	10:30～12:00	対象	看護職員(20名)
		お問い合わせ：高知医療センター 看護局 教育担当 FAX：088(837)6766 お申込方法：開講の1週間前までに「研修名、時間帯、申込者名、申込み施設名、連絡先」を明記の上、上記までFAXにて。定員になり次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。					
14	木	高知医療センター新人看護研修 地域施設公開研修		※参加費無料、事前申込要			
		内容	感染予防対策の基本	講師	高知医療センター 感染管理認定看護師		
		場所	高知医療センター1F 研修室2・3	時間	①8:30～12:00 ②13:00～16:00	対象	看護職員(各10名)
		お問い合わせ：高知医療センター 看護局 教育担当 FAX：088(837)6766 お申込方法：開講の1週間前までに「研修名、時間帯、申込者名、申込み施設名、連絡先」を明記の上、上記までFAXにて。定員になり次第締め切らせていただきますので、ご了承ください。					
23	土	第4回高知医療センター学術集会		※参加費無料、事前申込不要			
		場所	高知医療センター2F くろしおホール 高知医療センター1F 研修室(ライブ)	時間	13:00～15:30	対象	医療従事者
		お問い合わせ：高知医療センター 電話：088(837)3000(代) 主催：高知医療センター 教育委員会					
25	月	第118回救急医療症例検討会		※参加費無料、事前申込不要			
		場所	高知医療センター2F くろしおホール	時間	17:30～19:00	対象	医療従事者 消防・警察関係者
		お問い合わせ：高知医療センター 救命救急センター					
5/28	土	第17回地域医療連携研修会 ※事前申込不要、参加費無料。内容が変更する場合がございます。ご了承ください。					
		内容	医薬品の安全使用と 危険薬の誤投与防止について	講師	高知医療センター 薬剤局 局長 田中 照夫 氏		
		内容	転倒・転落防止について		高知医療センター 医療安全管理センター 医療安全管理室担当部長 坂口 房子 氏		
		場所	高知医療センター2F くろしおホール	時間	14:00～	対象	医療従事者、一般
お問い合わせ：高知医療センター 地域医療連携室 中島							

※時間等、変更になる場合もございますのでご了承ください。背景に色がついている講座は是非、地域の医療機関の皆さまにご参加いただきたいものとなっております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

編集後記

この度の東北地方太平洋沖地震および各地を震源とする地震により被災されたみなさまに、心からお見舞い申し上げます。抱えきれないほどの悲しみのなか、一日、いちにちを懸命に過ごされていることと思います。「人は人に支えられて生きている」と、テレビに映しだされる避難所の様子を見ながら改めて強く思いました。出会いを大切に、今以上により良い関係を継げるように、連携室の仕事にも取り組んで行きたいと思っております。(前方支援 澤田)



平成23年4月1日発行
にじ 4月号(第66号)
責任者：堀見 忠司
編集人：地域医療連携広報委員
特別編集委員
発行元：地域医療センター
地域医療連携本部
印刷：共和印刷株式会社

高知医療センター
〒781-8555 高知県高知市池2125-1
TEL：088(837)3000(代)

広報誌「にじ」に関するご要望・ご意見をお寄せください。renkei@khsc.or.jp

Kochi Health Sciences Center Home Page : <http://www2.khsc.or.jp/>